

調査団体名	21世紀の巨大開発を考える会	団体代表者名	織田重己
活動地域	トヨタテストコース造成予定地 (豊田市、岡崎市)	団体URL	<a href="http://bio-diversity.info/">http://bio-diversity.info/</a>
<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>着々と進む大規模開発の影でひっそりと消滅する生物多様性。それが、トヨタ自動車のテストコース問題。愛知県豊田市(旧下山村)と岡崎市(旧額田町)の山の中でトヨタ自動車が自社の研究・開発施設建設のため大規模開発を計画している。</p> <p>「21世紀の巨大開発を考える会」は、地元(愛知県内)の自然が好きなメンバーで構成。開発予定地の話題やそれに関する資料調査をはじめ、現地の現状調査活動を実施している。また、現状を広く世の中に伝えるため、ホームページで現実だけを掲載している。</p> <p>現状では、里山保全分野における放棄という現実も存在しており、開発が中止されてもこの放棄という現象が進み、里山としての機能も崩壊に向かうことが懸念される。特に田んぼの放棄は、生態系の餌場をなくし、現状の野鳥生息の崩壊へとつながる。このような考えから、里山保全のモデルケースともなるようにと、会から開発側に要望を出したこともあった。</p>			
<p>&lt;連携している団体・専門家・自治体など&gt;</p> <p>愛知県野鳥保護連絡協議会の一員として、愛知県に要望書などを提出している。 この問題に関しては、日本自然保護協会、日本野鳥の会においても取り上げている。 ただし、現在は、連携はとれていない。</p>			
<p>&lt;今までに行った調査・研究&gt;</p> <p>○メンバーによる随時の生態調査と写真撮影 ○新聞や各報道機関における記事の収集と分析</p>			
<p>&lt;現在直面している課題&gt;</p> <p>この開発問題をより多くの方々に知ってもらい、考えていただくこと。</p>			
<p>&lt;今後どんな情報が必要か&gt;</p> <p>連携できる団体情報</p>			



夏、稲の出穂前。イノシシ除けの電柵が施されている



稲の出穂後(9月上旬)。まだまだ草も伸びてくる



稲の収穫前(10月上旬)



稲の収穫後(11月上旬)